

非常警報設備試験結果報告書								
試験実施日				年	月	日		
試験実施者				住所		氏名		
用途		()項・	収容人員	名				
延べ面積		m ²		階数	地上	階	地階	
非常ベル・自動式サイレン	項目 機器	設置台数	型	式	定 格 電 圧			
					A C (V)		D C (V)	
	操 作 部							
	起 動 装 置							
	表 示 灯							
	音 響 装 置							
	複 合 装 置							
一 体 型								
放送設備	増 幅 器	型式		定 格 電 圧		定 格 出 力		
				A C	V	W		
	操 作 部	放 送 区 分			回 線 数			
		一斉 階別等選択可能			/			
スピーカ	配線方式	型 式		スピーカの種類		音 圧	施 設 方 式	
	2 線式 3 線式	ホーン型	個	L 級	個	L 級 dB	壁掛型	個
		コーン型	個	M 級	個	M 級 dB	埋込型	個
その他	個	S 級	個	S 級 dB	その他	個		
起動装置（自動火災報知設備を除く。）		押しボタン	非常電話					
		その他	(個)					
試 験 項 目			種 別 ・ 容 量 等 の 内 容				結果	
外 観 試 験	増幅器・操作部・遠隔操作器	設 置 場 所						
		周囲の状況・操作性		—————				
		設 置 状 況		—————				
		構 造 ・ 性 能		—————				
		操 作 部		床面からの高さ		m		
		予 備 品 等		—————				

試験項目		種別・容量等の内容						結果		
外	電 源	常 用 電 源						V		
		非 常 電 源 の 種 別						非常電源専用受電設備・蓄電池設備		
観	起動装置・ 非常電話	設 置 場 所 等						_____		
		構 造 ・ 性 能						_____		
		非 常 電 話 収 納 箱						_____		
試	表示灯・ 標識板	設 置 場 所 等						_____		
		構 造						_____		
験	ベル・ サイレン・ スピーカー	設 置 場 所 等						_____		
		構 造						_____		
機 能 試 験	増幅器・遠隔 操作器・操作 部及び複合装 置	階 (系統)						_____		
		回 路 選 択 試 験								
		起動装置 試験	非常ベル・自 動式サイレン							
			放 送 設 備							
			非 常 電 話							
		音響装置 試験 (dB)	鳴 動 方 式 試 験							
			作 動 試 験	ベ ル ・ サイレン						
				スピーカ	L 級					
					M 級					
		S 級								
		回 路 短 絡 試 験								
		非 常 電 源 試 験	電 源 の 自 動 切 替 機 能						_____	
			端 子 電 圧 ・ 容 量						V AH	
一 般 放 送 停 止 試 験										
備 考										

備考1 この用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。

2 選択肢のある欄は、該当する事項を○印で囲むこと。

3 結果の欄には、良否を記入すること。

4 非常電源（内蔵型以外のもの）及び配線についての試験結果報告書を添付すること。

5 操作盤が設けられているものにあつては、操作盤についての試験結果報告書を添付すること。